

5 市民生活

消費支出

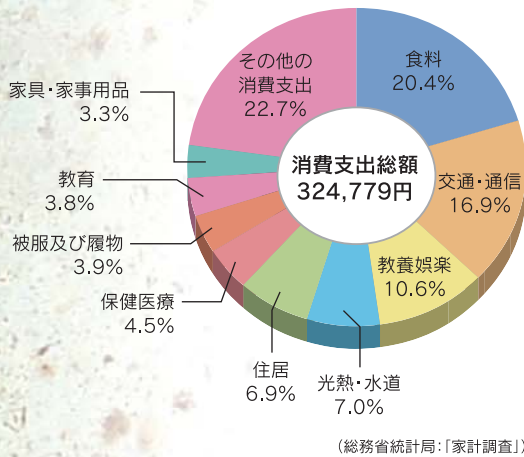
年間消費金額ランキング1位

「ぎょうざ」「せんべい」「タオル」「外食(洋食)」

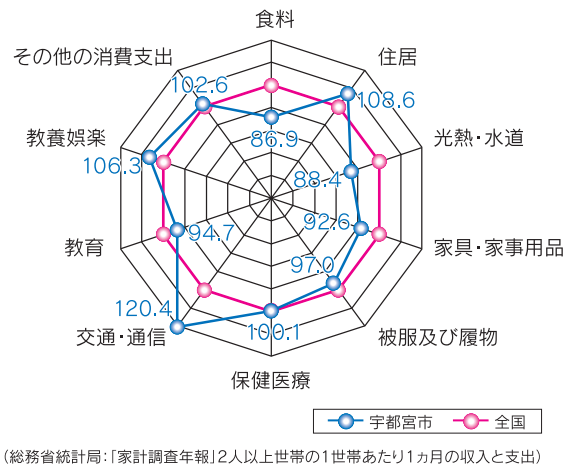
平成24年家計調査によると、宇都宮市における家計の消費支出で最も大きな割合を占めるのは食料で、支出全体に占める割合は、20.4%となっています。次いで交通・通信が16.9%、教養娯楽が10.6%となっています。

また、宇都宮市民の消費性向(可処分所得に対する消費支出の割合)を分析すると、全都市に比べ食料や光熱・水道の支出が少なく、交通・通信、住居、教養娯楽の支出が多くなっています。

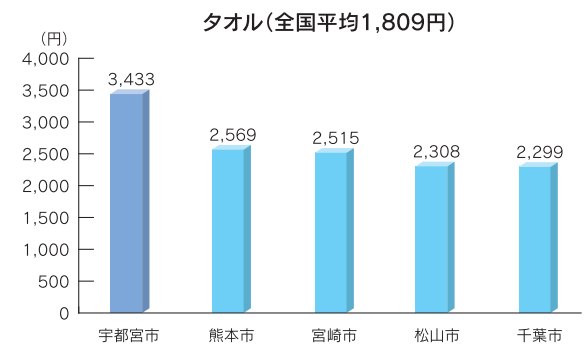
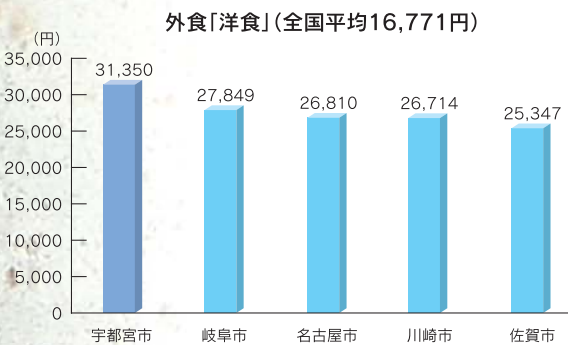
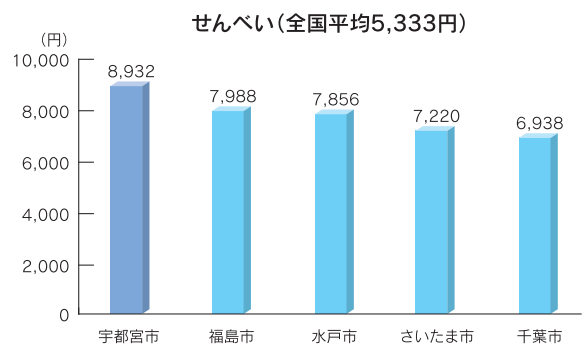
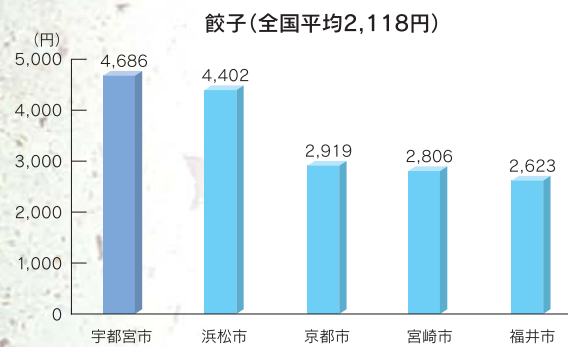
消費支出の内訳(平成24年、1ヶ月平均、二人以上世帯)



消費性向(全都市=100)



1世帯あたり年間消費金額全国トップ5(平成21~23年の平均値)



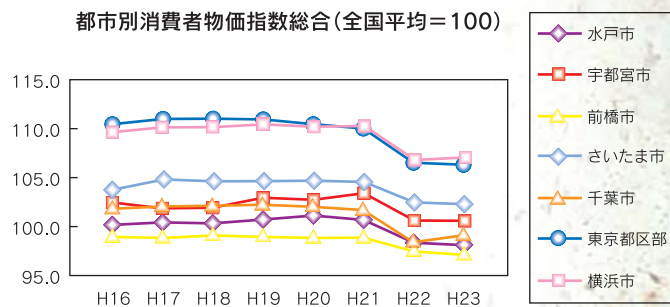
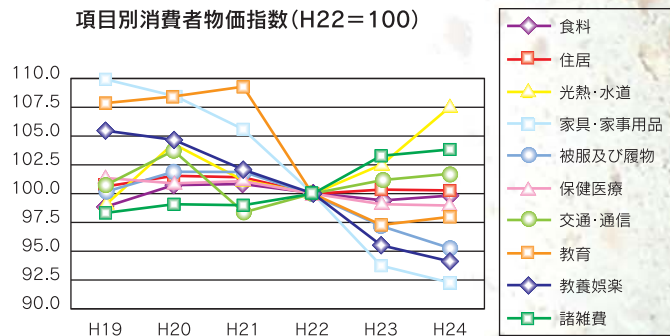
(総務省統計局:「家計調査」都道府県庁所在市別ランキング(都道府県庁所在市外の政令指定都市を含む))

消費者物価指数

「光熱・水道」「諸雑費」の物価水準が高い

平成19年から消費者物価指数をみると、「光熱・水道」「交通・通信」「諸雑費」の物価が上昇する一方、「家具・家事用品」「被服及び履物」「教養娯楽」が下がっています。

全国と比較すると、宇都宮市の物価は全国平均よりやや高めに推移しています。



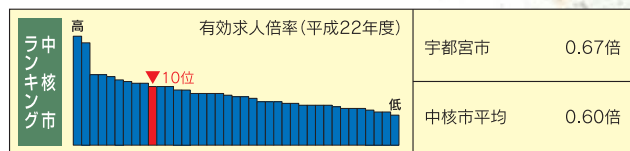
(注) 全国平均は、H22から都道府県庁所在地及びその他政令指定市51市の平均に変更
(総務省統計局:「消費者物価指数統計年報」)

就労状況

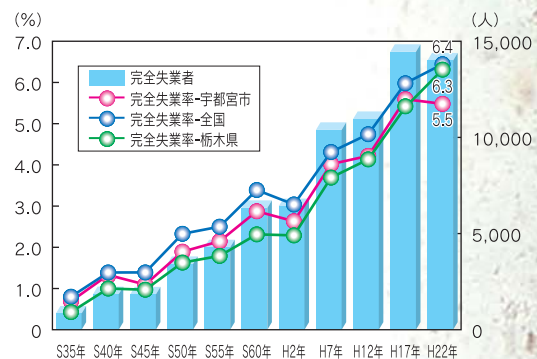
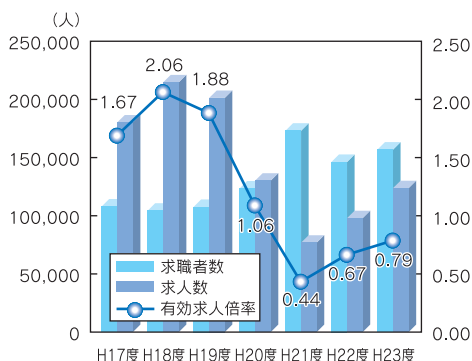
低迷する有効求人倍率 完全失業率も高水準で推移

有効求人倍率は、平成17年度から平成20年度までは1.0を上回っていましたが、平成21年度以降1.0を割り込み、低水準となっています。

また、国勢調査結果によると、本市の完全失業数(注)は、やや減少しましたが、高い水準にあります。



(管内ハローワークデータ)



(注) 非就業者のうち、就業が可能であり、かつ積極的に仕事を探している人の数

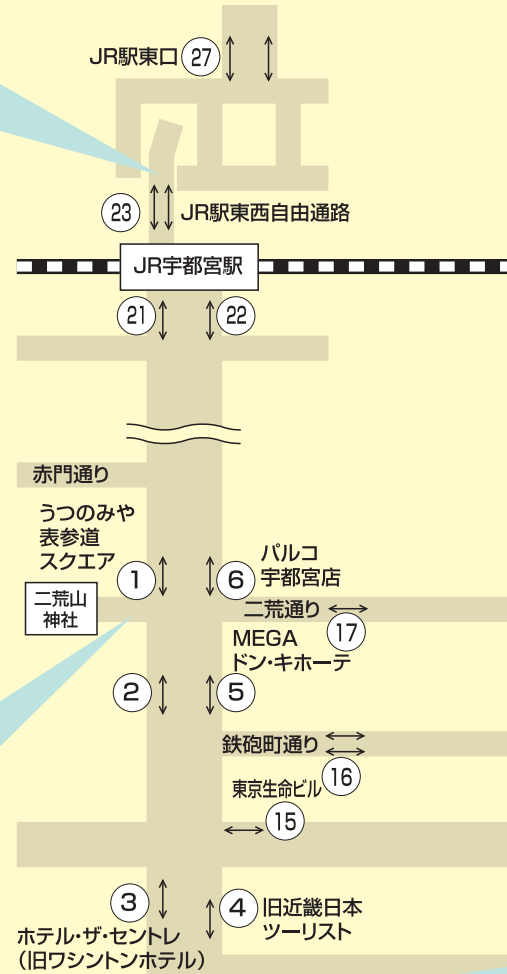
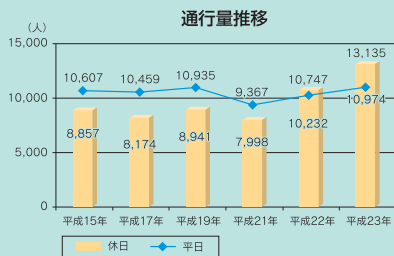
中心市街地の通行量が休日・平日ともに増加!

本市の顔である中心市街地では、市街地再開発事業やまちの景観整備、商店街への出店者の支援などを通じ、まちの魅力を創出し、来街者の増加と活性化に努めています。

平成23年に実施した「通行量実態調査(※)」によると、平日・休日ともに中心市街地の交通量が増加しました。

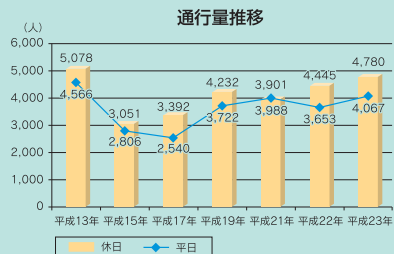
宇都宮駅東口駅前広場・宇都宮駅東西自由通路

平成20年11月に再整備された宇都宮駅東口新駅前広場がオープンしました。各交通機関への乗り換え機能の向上や、緑豊かな憩いのスペースの整備など、皆さまに安心してご利用いただける広場に生まれ変わりました。また、駅前広場の再整備に合わせて改修が進められていた、宇都宮駅東西自由通路(歩行者デッキ)が平成22年9月に全面通行可能となりました。



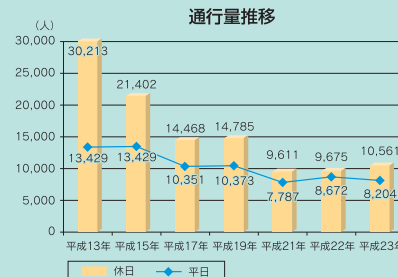
バンバひろば

神社の歴史的空間と近代的な都市空間との融合を図り、市民が集い憩える空間を整備しました。宮祭りや餃子祭りなど恒例イベントの拠点としても活用されています。

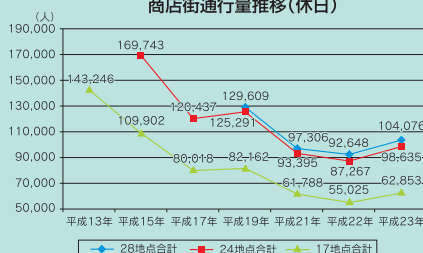


宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」

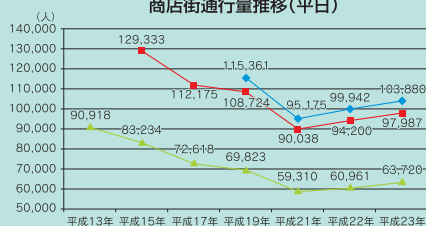
中心市街地の活性化、市の地域産品の認知度の向上など、複合的な設置効果を目指して平成21年11月にオープンしました。



商店街通行量推移(休日)



商店街通行量推移(平日)



※「通行量実態調査」

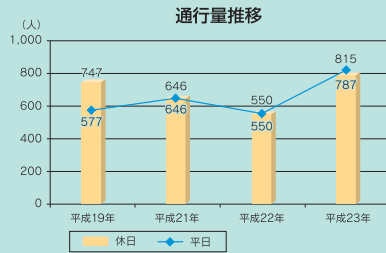
宇都宮市、宇都宮市商工会議所が実施主体となり昭和56年に始まった調査です。市内中心部28地点の歩行者(自転車利用を含む)の通行量を調査することで、通行量の面からの商店街の現状を明らかにし、商業振興施策や商店街活動の基礎資料となっています。調査は夏休み期間が始まってすぐの日曜日、月曜日に実施しています。



宇都宮城址公園

本市の歴史を伝えるとともに、市民のまちへの愛着や誇りを培い、もって市民の心のよりどころとなる本市の個性づくりやシンボルづくりを目的に整備したものです。

平成19年3月に完成し、祭りや催事会場のほか、災害時の避難場所として活用されています。



地点番号	調査地点	
	調査地点名	場所
1	表参道スクエア前	大通り北:馬場通り4丁目
2	クオリア前	大通り北:馬場通り1丁目
3	とらやビル前	大通り北:本町
4	旧近畿日本ツーリスト前	大通り南:池上町東
5	ファーストリップ前	大通り南:馬場通り2丁目東
6	ハルコ宇都宮店前	大通り南:馬場通り3丁目
7	旧チャレンジショップ前	オリオン通り:江野町西
8	オリオンスクエア前	オリオン通り:江野町中央
9	長瀬文具店前	オリオン通り:曲師町西
10	長谷川時計店前	オリオン通り:曲師町東
11	コアミ計測機前	日野町通り
12	サイトウシャツ店前	東武馬車道通り
13	秀月堂菓子店前	江野町通り
14	タテノ本店前	中央通り 西
15	池上季仙前	中央通り 東
16	ホテルニューアサヒ前	鉄砲町通り
17	町田靴店前	二荒通り 西
18	ビックエコー前	二荒通り 東
19	伊香保旅館前	みはし通り
20	FES前	ユニオン通り
21	秋元薬局前	JR駅前通り 北
22	スギムラ前	JR駅前通り 南
23	JR駅東西自由通路	JR駅舎2階東
24	ふれあい広場(北側)	釜川沿い 中央本町
25	宇都宮城址公園前	本丸通り:中央3丁目
26	宇都宮市役所前	シンボルロード南端:中央2丁目
27	駅東口大通り	東宿郷1丁目
28	ふれあい広場(南側)	釜川沿い 中央本町

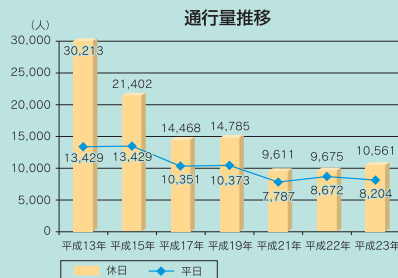


「オリオンスクエア(オリオン市民広場)」

平成18年11月にオープン。

発表会、展示会など各種イベントに利用することができる屋根が付いたイベント広場で、市民の憩いとふれあいの場となっています。

平成23年10月にはステージに大型映像装置が設置され、プロスポーツのパブリックビューイング等、映像を使ったイベントが開催できるようになりました。



(通行量実態調査 調査要因)

地点番号 ①、②、⑤、⑥、⑧、⑨、⑪～⑬、⑰～⑲は昭和56年から継続調査
 地点番号 ③、④、⑦、⑩、⑭、⑯、⑳、㉑は平成15年から追加
 地点番号 ㉒～㉔は平成19年から追加